

平成 29 年 6 月 23 日

日本臨床衛生検査技師会会員各位へ

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
代表理事 会長 宮島喜文

病理組織検体の取り違い事故については、公益財団法人日本医療機能評価機構より 2011 年 4 月に「医療安全情報 No.53」として注意喚起事例として報告されていることですが、その後も同様な事例報告が続いています。(医療事故情報収集等事業報告第 45 報告書参照) 一昨日も一部報道にありますように、検体の取り違いにより胃潰瘍患者をがんと診断して切除する医療事故が発生しております。

会員各位の皆様におかれましても、所属施設内で手順の再確認及び見直しを行い、同様な事例の起こらないよう注意喚起を再度徹底することをお願いします。

【参照情報】

医療安全情報 No,53 : http://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_53.pdf

医療事故情報収集等事業報告第 45 報告書 : http://www.med-safe.jp/pdf/report_45.pdf

当会は日本医療安全調査機構の社員加入団体です。同機構医療事故調査・支援センターの医療事故調査支援団体でもあります。

医療安全対応執行理事：千葉 正志 (chiba-masashi@jamt.or.jp)

事務局：柿島 博志 (kakishima-hiroshi@jamt.or.jp)